



立正大学

RISSHO University Alumni Association Since 2009

立正大学校友会報

No.32

たちばな

2017.1.1



◆ 発行／立正大学校友会 ◆

- P.02 | 平成 28 年度「校友の集い」ホームカミングデー in 橘花祭開催報告
- P.07 | 平成 28 年度 HCD 橘花祭と同窓会開催のご報告
- P.08 | 平成 28 年度同窓会支部総会・研修会・学部総会開催報告
- P.10 | 橘会会長の新年のご挨拶
- P.11 | 平成 28 年度橘会保護者懇談会開催報告
- P.14 | BOOK&WOOKS・卒業生の活躍
- P.15 | INFORMATION

平成28年度

校友の集い ホームカミングデー in 橘花祭を開催!!

校友会主催 校友の集い「ホームカミングデー in 橘花祭」を、平成28年11月5日(土)に開催いたしました。

本年度で4回目となる校友会主催の「ホームカミングデー in 橘花祭」は、品川キャンパスの5号館・7号館・9号館・学生広場で行われました。

当日は、本学心理学部教授と本学名誉教授による対談形式での講演や、立正マルシェと称し、大崎郵便局や大和リゾート(株)様、バーテルス様など大学周辺企業参加による物販・展示・相談、橘花祭模擬店団体による模擬店の出店、各地域の同窓会主催による地方物産展(模

擬店)、東京中小企業家同友会南部協議会様によるフリーマーケットがあり、沢山の方々の来校がありました。また、昨年度に引き続き来場者用キッズコーナーを設け、多くの方々にご利用をいただきました。今年度は、福島県産のリンゴカクテルの試飲寄付を行ったバーテルス様から日本赤十字社を通して、被災地に17,170円の寄付を頂き、大学同窓会から、当日の売上金110,900円を在校生の奨学金として、大学に寄付を頂きました。ご参加いただきました方々に御礼申し上げますとともに、ご協力いただきました皆様へ感謝申し上げます。

平成28年度 立正大学校友会主催 「ホームカミングデー in 橘花祭」開催報告

- 開催期間：平成28年11月5日(土)
- 開催場所：品川キャンパス5・7・9号館、学生広場
- 入場者数：8,092名(橘花祭実行委員会調べ)
- 参加者数：992名



集合写真



正門前



山手通り入り口



オープニング



学生広場



学生会本部



同窓会地方物産販売



同窓会地方物産販売



同窓会地方物産販売



大崎郵便局様



東京中小企業家同友会南部協議会様



大和リゾート株式会社様



パティスリー様



日本酒プロジェクト



Mike's Hotdog 様



法学部卒業生異業種交流会



在職教員の先輩と話そうプロジェクト



在職教員の先輩と話そうプロジェクト



OB・OG 先輩を囲む会



OB・OG 先輩を囲む会



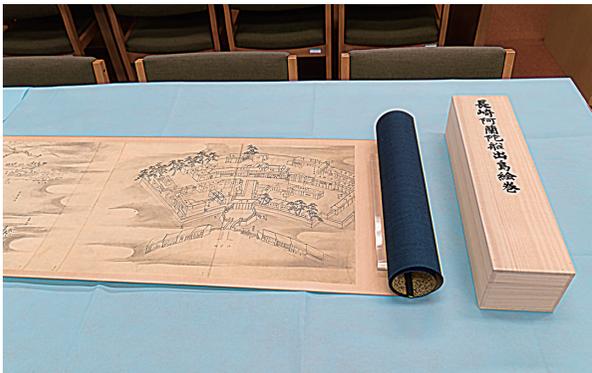
校友会主催講演会



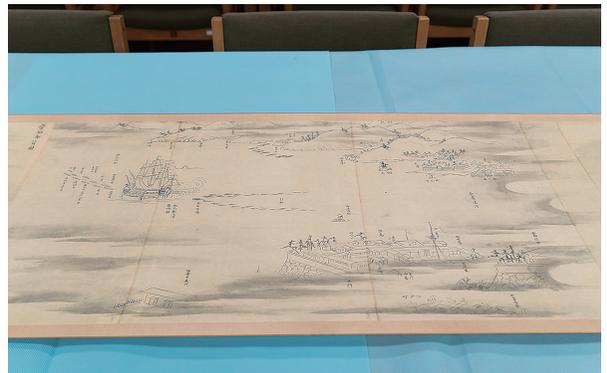
立笑（正）点



立正大学の歴史展



古書資料館見学ツアー



古書資料館見学ツアー



大学安置祖師像ご開帳



来場者へ配布するお札を折る



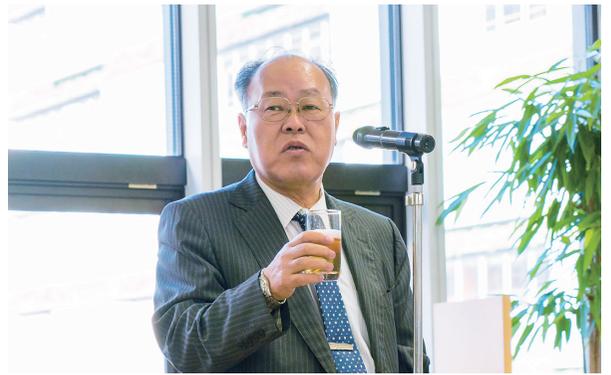
来場者用キッズスペース 外見



来場者用キッズスペース 室内



ホームカミングデー in 橘花祭懇親会 齊藤立正大学長による挨拶



ホームカミングデー in 橘花祭懇親会 乾杯の首頭をとる池上副会長



ホームカミングデー in 橘花祭懇親会中の様子



心理学部開設15周年記念特別講演会 古屋心理学部長による挨拶



心理学部開設15周年記念特別講演会 元心理学部教授片岡 玲子氏



平成 28 年度

HCD in 橘花祭と同窓会開催のご報告

立正大学同窓会広報委員長 齊藤 岐代未

ホームカミングデーを橘花祭にあわせて行い今年で4年目を迎え、本年度は11月5日(土)に開催されました。

学生の立案・企画も、活気が年度を重ねるごとに盛り上がりを増しています。学生広場は様々なサークルが華やかなパフォーマンスを繰り広げ、ステージ前は観客の歓声がどよめき、記念講演には長い列ができるほど、来場者の皆様に積極的にご参加いただきました。さらに、「立笑(正)点」卒業生の嘶家さんの仕草にお腹を抱えるなど落語を楽しみました。この日は立正大学品川キャンパスが最高の輝きを見せた一日でした。

さて、学生広場において今年も物産展が、北から青森、岩手、宮城、秋田、群馬、富山の各県、南からは沖縄、熊本、福岡、四国、兵庫の各県、そして東京及び東京多摩の各支部のご協力のもとで開かれました。物産展のテーブルの前では同窓生の熱気あふれる掛け声とそれに対する在校生の応対は、楽しさの中に見応えがありました。きっと在校生は物産展に携わった卒業生の社会的地位を確立した姿に、未来の自分を投影して、明るい希望を抱いたことでしょう。立正を卒業した後の社会生活を送る自分をイメージすることが出来そうな一日でした。

また、文学部と教職センター協力で、11時から教職員希望の在学生と卒業生教員の先輩による「教員合格への対策」を開催いたしました。テキストでは学べない「来た人だけが得をする」大変貴重で深い話をさせていただきました。

さらに、キャリアサポートセンターの協力で、OB・OGを招聘して語り合う会を開催し、多くの方々にご参加いただきました。

法学部では、昨年に引き続き異業種交流会を開催致しました。あらゆる業界の最新動向を知るだけでなく、視界が広がり視座が高まるよう開催いたしました。大学が世界の幸せを実現させる人材を育てる教育と研究を目指

していることに、認識を新たに致しました。

社会福祉学部では、来場者がイベントに参加しやすく楽しい一日をぜひこの機会にと、託児施設(キッズルーム)を開設し、会場内散策や、お子様とスタンプラリーなど安心して遊べる場を提供いたしました。

今年も現役学生の奨学基金への寄付金につきまして、寄付のお申し出をいただきました皆様からいただきました金額と、物産展の売上金の中から一部金額を合わせまして、11万円を超える金額の寄付をさせていただくことができました。

午後4時から校友会主催の親睦会も多くの支部の方に参加を頂きました。しかし、交通機関の関係から、最後までいられない支部があったことは、本当に残念でした。

昔は家が足りないといっていた時代から空き家が問題となってきている時代です。人口減少や長寿化といったメガトレンドが進む中で、同窓会は次世代への責任を果たす視点に立って、実効性の高い施策を積極的に構築していく必要があることを実感しました。卒業生を今後多く迎える同窓会の役割も大きく変わっていくことが要求されることでしょう。

この「たちばな」を見た後、学生の頃、喜びや悲しみを共有した友に久しぶりに連絡を取って、懐かしい声を聞いてみてはいかがでしょうか。

最後に、ホームカミングデー開催にあたり、協賛参加にご協力いただき、また、奨学基金への寄付にもご協力を頂きましたことに、心より感謝申し上げます。来年も、さらに充実した協賛参加を進めていきたいと思っておりますので、多くの支部の皆様のご理解とご協力をお願い致します。校友会の目標「オール立正」を、深めることができる同窓会を目指していきたいと思っております。

同窓生の皆様、また来年品川でお会いしましょう。

同窓会支部総会開催報告

【滋賀県支部】

- ◆ 6月4日(土)
- ◆ 京都市 本法寺・萬重
- ◆ 出席者：7名



【熊本県支部】

- ◆ 8月27日(土)
- ◆ 熊本市 ホテルニュースカイ
- ◆ 講演会:「熊本について考える」中山進氏(熊本学園教授・前熊本県支部同窓会支部長)
- ◆ 出席者：27名
- ◆ 野坂法雄同窓会会長、栗田美千也校友課課長出席



【長崎県支部】

- ◆ 9月10日(土)
- ◆ 佐世保市 JAささぼホール
- ◆ 講演会:「未来の佐世保」池田満治氏(佐世保市観光コンベンション協会理事長)
- ◆ 出席者：18名



【新潟県支部】

- ◆ 9月10日(土)
- ◆ 柏崎市 ザ・ホテルシーポート
- ◆ 研修:東京電力柏崎刈羽原子力発電所見学 東京電力職員
- ◆ 出席者：26名
- ◆ 野坂法雄同窓会会長出席



【富山県支部】

- ◆ 10月1日(土)
- ◆ 富山市 ホテルグランテラス富山
- ◆ 講演会:「解り易い経営学～前学長が語る大学の経営と企業の経営」山崎和海氏(立正大学前学長・経営学部教授)
- ◆ 出席者：20名
- ◆ 栗田美千也校友課課長出席



【山形県支部】

- ◆ 10月9日(日)

- ◆ 山形市 山形国際ホテル
- ◆ 講演会:「注意とエラー～人はなぜ誤るのか～」山下富美代氏(立正大学名誉教授)
- ◆ 出席者：30名
- ◆ 栗田美千也校友課課長出席



【広島県支部】

- ◆ 10月15日(土)
- ◆ 福山市 アルセ
- ◆ 講演会:落語芸術協会理事真打 三遊亭夢太郎

【沖縄県支部】

- ◆ 10月15日(土)
- ◆ 那覇市 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城
- ◆ 講演会:「歴史から見た世界一の亀甲墓」緑間禎氏(沖縄関ヶ原石材社長)
- ◆ 出席者：17名



【岩手県支部】

- ◆ 10月22日(土)
- ◆ 盛岡市 ホテル ルイズ
- ◆ 講演会:「TV・映画の時代劇歴史考証の裏表」北原進氏(品川区立品川歴史館館長・立正大学名誉教授)
- ◆ 出席者：30名
- ◆ 西岡勇治同窓会副会長出席



【島根県支部】

- ◆ 11月12日(土)
- ◆ 出雲市 お多幸

【秋田県支部】

- ◆ 11月19日(土)
- ◆ 仙北市 花葉館

【長野県支部】

- ◆ 11月19日(土)
- ◆ 松本市 ピレネ(PYRENE)
- ◆ 講演会:「山国信州にクジラやイルカが泳いでた?～1300万年前の海生哺乳類化石に聴く～」市川恵一氏(松本市四賀化石館館長)



◆ 出席者：31名

【宮崎県支部】

◆ 11月19日(土)

◆ 宮崎市 ホテルニューウェルシ宮崎

◆ 出席者：11名

◆ 西岡勇治同窓会副会長出席



【東京多摩支部】

◆ 11月23日(水・祝日)

◆ 八王子市 ザ・ビー・
八王子

◆ 講演会：「ウズベキスタンの発掘調査から」池上
悟氏(立正大学副学長・文学部史学科教授)

◆ 出席者：20名

◆ 西岡勇治同窓会副会長出席



【愛知県支部】

◆ 11月26日(土)

◆ 名古屋市 名鉄ニュー
グランドホテル

◆ 出席者：12名

◆ 野坂法雄同窓会会長出席



【山口県支部】

◆ 12月3日(土)

◆ 岩国市 開花亭

◆ 講演会：「お茶を通して見た吉川家」村
田典敬氏(茶道家・典座(てんぞ)庵主)

同窓会研修会開催報告

【埼玉県支部】

◆ 9月17日(土)

◆ 「秋の日帰り研修旅行」

◆ 行程:大宮ソニックシティ
⇒日光田母沢御用邸⇒昼食(金谷ホテル)⇒沼田
のリング園



【千葉県支部】

◆ 10月15日(土)

◆ 千葉市 日蓮宗本円寺

◆ 写経・お守り作り



◆ 参加者：34名

【神奈川県支部】

◆ 10月23日(日)

◆ 「鎌倉歴史文学散策」

◆ 行程:「諏訪神社」⇒

「北条常盤跡」⇒日蓮宗「圓久寺」⇒(常盤
口)、⇒日蓮宗「佛行寺・源太塚」⇒農業用
水池「夫婦池」⇒「榎亭」庭園見学

◆ 参加者：35名

【神奈川県支部(女子部会)】

◆ 11月26日(土)

◆ 『日蓮聖人御一代記』、『小松原の御法難』

◆ 横浜市 パレド・バブル

【群馬県支部】

◆ 11月27日(日)

◆ 高崎市 多胡碑記念館

⇒だるま絵付け体験

⇒高崎観音温泉錦山荘

◆ 参加者：23名



同窓会学部総会開催報告

【文学部】

◆ 5月28日(土)

◆ 品川区 立正大学品川キャンパス

◆ 講演会:「黄表紙を読む」小山一成氏(立正大学
名誉教授)

◆ 出席者：29名

【文学部・歴史散策研修会】

◆ 9月10日(土)

◆ 中央区 江戸城から日本
橋、日本橋三越本店等

◆ 参加者：28名



【経営学部】

◆ 11月12日(土)

◆ 品川区 立正大学品川キャンパス

◆ 出席者：61名



新年のご挨拶

立正大学橘会会長 佐々木 盛徳



橘会会員の皆様方のご協力のお陰で、本年度も橘会会長として、保護者懇談会等の行事を無事終了することが出来ました。誠に有り難うございました。

卒業間近の学生を持つ橘会会員の皆様におかれましては、永きに渡り橘会を陰に陽に支えて頂き、感謝申し上げます。また、学生生活を終え、保護者の手を離れ、社会に飛び立つ嬉しさや、寂しさ色々な気持ちで、新春をお迎えのことと存じます。

さて、昨年橘会は総会（5月21日）を皮切りに本年度の活動を始め福岡会場（5月29日）・品川キャンパス会場（6月12日）・秋田会場（6月18日）・静岡会場（7月3日）・岡山会場（7月10日）・大宮会場（8月6日）・神戸会場（8月28日）・高松会場（9月3日）・千葉会場（9月11日）・新潟会場（9月24日）・横浜会場（10月1日）・山形会場（10月9日）・沖縄会場（10月23日）・熊谷キャンパス会場（11月13日）と、去年より4会場増やした全国14会場で、保護者懇談会を開催する予定ではありましたが、残念なことに福岡会場は、4月14日の熊本地震の影響を鑑み、本年度は中止せざるを得ませんでした。

昨年の保護者懇談会を振り返りますと、高松会場と山形会場では、立正大学同窓会との合同開催を致しました。同窓会との合同開催のメリットとして、立正大学は、毎年2500人程の学生が卒業しており、全国各地に就職しております。卒業生の中には、企業役員等になられている方もおり、合同開催する事により、卒業生からの本音や、アドバイスを聞ける場になります。在学中の学生諸君には、縁のない同窓会かもしれませんが、「縁は異なるものの味なもの」と故事ことわざにありますように、私たち橘会は、この思いを伝えたく、同窓会との合同開催を行っております。全ての会場で、

合同開催を行うことは、日時調整等などで難しい面がありますが、全国に立正大学同窓会支部がありますので、保護者の皆様また学生諸君で、「縁」を希望される方は、橘会並び同窓会窓口の立正大学校友課にご連絡を頂ければと存じます。皆様と、同窓会との橋渡しをして頂けます。また、昨年最後の熊谷キャンパス会場では、社会福祉学部創設20周年記念事業と同時開催を行いました。社会福祉学部主催の講演で、戦場カメラマンとして有名な渡部陽一氏の講演がありましたが、メイン会場に学生聴講者が多数集まり、保護者の皆様には、別室のモニターでの聴講になってしまいました。お詫び申し上げます。

各地区で提出して頂いておりますアンケートを拝見しますと、叱咤激励のコメントが書かれております。役員も、アンケート等を元に切磋琢磨させておりますが、橘会の役員は全員保護者であり、学校職員ではありません。現実、役員のやり手の少ない中、役員は、忙しい時間を割いて、橘会の各行事の準備運営をしております。まだまだ改善の余地はあると存じますが、橘会は、保護者全員が会員であり、会員同士が協力し合い、理解し合わなければ、運営することが出来ません。

橘会は、第一の目的でもある学生達が社会へ巣立ち、立正大学に入学して良かったと言ってもらえるように、保護者の立場からその手助けをし、できる限りの支援をして行きたいと考えております。学生が、お世話になっている立正大学並びに橘会に、会員皆様の様々な形での積極的なご参加、ご協力をお願いしまして、私からの挨拶に代えさせていただきます。



平成 28 年度 橘会保護者懇談会開催報告

平成 28 年 6 月より開催してまいりました、立正大学橘会保護者懇談会の全日程が終了いたしました。大変盛会の中、各会場とも無事に終了することができました。ご参加いただきました保護者の皆様、ご協力いただきました大学関係者の皆様ありがとうございました。今回は、前号以降に開催された保護者懇談会において、保護者の方より寄せられた声を、前号ではお載せできなかったものと合わせて掲載いたします。

秋 田 会 場



- 日にち：平成28年6月18日（土）
- 会 場：ホテルパールシティ秋田 竿燈大通り
- 参加数：27人
井畑 博・弘子（秋田県）

秋田会場で行われた保護者懇談会に始めて夫婦で参加させていただきました。当日は思いのほかたくさんの方々に参加されており、とても心強かったです。

「父母のための就職講座」では企業側が求める人材について、とても興味深いお話を聞くことができました。今後、息子と就職の話をするときに是非参考にしたいと思います。

続いての個人面接では、吉岡先生より息子がお世話になっている教授からのメッセージを伝達していただきました。授業前、友達とワイワイやっている姿や授業はしっかりと目的をもって受講している姿がその内容から窺い知ることができました。秋田を離れて2年目となる都会での生活を何とか一人でがんばっているのだろうと、息子から偶にしか来ないメールで察していましたが、こんなにも楽しく、目的を持ちながら充実した学生生活を過ごしていることを知り、安心したともに嬉しい気持ちになりました。

その後、現在がんばっている陸上競技部での活動が自己PRにつながることや、将来の見通しとして受講すべきガイダンスの助言をいただきました。

この懇談会で橘会の副会長さんや吉岡先生のお話は、ご自身のお子様の体験談を交え、とても親しみやすく貴重な時間となりました。こうして息子の人生を見守ることで、出逢うことができた大学職員の方や保護者の皆様にご縁を感じながら主人と一緒に会場を後にしました。ありがとうございました。

神 戸 会 場

- 日にち：平成28年8月28日（日）
- 会 場：チサンホテル神戸
- 参加数：14人
川久保 いづみ（大阪府）

初めて保護者懇談会の案内をいただいた時は、正直「大学生になってまで懇談会に行くのもなぁ」と思いましたが、会場が大阪であったこと、話のネタになるなら一度ぐらいは参加してみてもいいかなと、軽い気持ちで出席した前回の懇談会から早いものでもう1年が経ちました。2度目の案内を手にした時も少し悩みましたが、「もう1回参加してみてもつまらなかったら来年は行かん

でええか」と思い、今回も昨年以上に軽い気持ちで参加させていただきました。

神戸会場は、教職員・役員紹介、橘会佐々木会長の開会挨拶で始まり、品川学事部長から大学の近況、現役学生やOGがリオオリンピックの女子ラグビー日本代表として出場したことなどをお話いただき、「父母のための就職講座」では、熊谷キャリアサポート課長より、就職活動のスケジュールが変わってきていること、インターンシップなど就職活動のスタイルが多様化していることなどをお話いただきました。その後個人面接が行われ、息子の履修状況や成績、普段の様子などを伺いました。

まだ2年生ということもあり、就職活動は先のことのように思っておりましたが、今回の就職講座を受け、就職に対する意識や必要なスキルを身につけること、そのための情報収集の大切さを感じました。また、個人面接の順番を待っている間には保護者同士で交流する機会があり、他学部や他キャンパスの様子など情報交換ができたこと、先輩方の就活の様子を知ることができたことはとても有意義でした。2年続けて失礼なほど軽い気持ちで参加しておりましたが、来年、保護者懇談会の案内を手にした際は迷わず『参加』にしようと思っております。

最後に、大学関係者、橘会の役員の方々、このような機会を設けていただきありがとうございました。



平野恵（京都府）

早いもので、今年は息子も4回生。就活本番となりました。保護者懇談会には、大学のアカデミックな風を感じたくて、毎年参加させていただいておりましたが、それも最後となります。近畿地方の保護者懇談会は少人数でアットホーム。立正大学を身近に感じるチャンスにもなります。

今年から少し趣向が変わって、学長からのビデオメッセージが放送され、続いて、佐々木静宏品川学事部長より、大学の取り組みや様子についてお話がありました。タイムリーな話題として、リオデジャネイロ・オリンピックで活躍した7人制女子ラグビー日本代表に選ばれた本学在校生、および卒業生、ヘッドコーチの紹介がありました。東京オリンピックに向けての期待も高まります。

その後、メインの「父母のための就職講座」を熊谷キャリアサポートセンターの吉岡重雄課長にお話頂きました。1年次からのきめ細かいキャリアサポート体制、各学年向けのキャリアスケジュールなど、学生たちの就職活動を支援する体制について、丁寧にご説

明頂きました。また、近年の就職状況についてお話を頂きました。

個人面接の待ち時間に、お茶とスイーツを頂きながら、参加されている保護者の方々と交流を持つこともできて楽しかったです。橘会会長の佐々木盛徳様は気さくな方で、過去の立正大学の話など楽しい話題で場を和ませてくださっていました。

最後に、立正大学並びに橘会のますますのご発展を期待しつつ、大学各関係者の方々にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

千葉会場

- 日にち：平成28年9月11日（日）
- 会場：ホテルニューオータニ幕張
- 参加数：82人
久保田信一夫妻（千葉県）



9月11日に千葉会場で開催された保護者懇談会に夫婦で初めて参加しました。

「大学の近況」では、現在推進中のプロジェクトや、教育施設（品川キャンパス）の設計等が会場スクリーンでビジュアルに示されました。

続いて、保護者にとって関心のある「就活」に関するご説明が始まりました。思い返せば、2人の息子の就職活動には全く放任、昨年の娘の就活では、3月1日午前零時の解禁と同時に「お父さん、こどもどんクリックして」と頼まれて、パソコンに向かってエントリーの申込みを手伝ったのが父親として関与した最初で最後でした。今回の「父母のための就職講座」では、解禁から、会社訪問、面接、内定獲得までの日程に従い、何をしておくべきか等について分かり易くご説明頂き、就活無知の私にとってはまさに目から鱗でした。特に「採用直結型インターンシップへの参加」や大学の「キャリアサポートセンター活用方法」などのお話は大変参考になりました。

最後の「個人面接」では、本人はまだ2年生で就活には時間があるものの、今からやっておいた方が良い事柄等について、当日配布された「成績表」を基に先生から具体的にご指導して頂くことができました。サークル活動もせず、アルバイトばかりしていることが親として心配でしたが、先生からは「一生懸命に打ち込んでいるのであればアルバイトでも構わない、実社会を知ることにも出来る」と言われ、安心しました。

また「千葉会場」に因み、立正大学の「淵源」である「飯高壇林」が千葉県の八日市場にあり、パワースポットになっていると言うお話を田中貞真副会長からお聴きしました。一度行ってみたいと思っています。

新潟会場

- 日にち：平成28年9月24日（土）
- 会場：万代シルバーホテル
- 参加数：41人
長谷川雅俊・綾子（新潟県）



昨年、品川キャンパスで行われた保護者懇談会に初めて参加させていただき、この度は地元、新潟にて妻と共に参加させていただきました。

橘会副会長である、田中様の司会進行により、冒頭齊藤学長

より、立正大学の今後のビジョンについてメッセージをいただきました。続いて、石松学生部長による大学の近況をお聞きしました。今後の予定として、150周年に向けて校舎をリニューアルするとの事でした。又、大学のイメージアップの一貫として、駅伝にも今後力をいれていくとお話でした。

「父母のための就職講座」では、品川キャリアサポート課長の草川先生よりキャリアサポートセンターの取組についてお話をいただき、大学としてインターンシップに力を入れている事、ブラック企業の見分け方について具体的な説明をいただき、親としても非常に参考になりました。同時に、子供達はもっと、親身になってくれるキャリアサポートセンターを自分自身の為に積極的に活用すべきだと感じました。

立正大学の平成27年度の就職率は、就職希望届を母集団とした割合としては、95%との事でした。リーマンショック以降、平成22年度に底を打ち、就職環境は上昇傾向にあつて各企業も採用意欲が向上してきているとの事ですが、やはり最後は本人のやる気が1番重要です。草川先生が言うておられましたが、就職に向けて大切な事は、普段からの学生生活を充実させる事が大切だと言う事です。

規則正しい生活、時間管理、当然ながら当たり前な事です。しかしこの、「当たり前な事を当たり前に行う事」が意外と難しい事です。残された学生生活の中で、確りと習慣化されることを切に願う次第です。

この度は、地元新潟での開催となりとてもありがたい機会でした。準備をされる関係者の皆様には感謝申し上げます。



添川文夫（新潟県）



私は、今回で2回目の保護者懇談会の参加になります。1回目の時も大学の近況や就職の事等を聞き、大変参考になりました。今年、息子も3年生ということで、大事な時期なので、妻と2人で参加をさせていただきました。

就職講座も勉強になりますが、私も立正大学出身なので、大学の近況や大学の職員と話をすることも楽しみにしています。保護者会の全体会では、大学の近況を詳しく聞くことができ、懐かしく感じると同時に、学生たちに寄り添う指導に感心させられました。

「父母のための就職講座」では、平成27年度の進路状況や業種別就職者数の説明があり、採用枠や就職率について知ることができました。私の就職時にはなかった、立正キャリアナビには驚きました。キャリアナビによる、求人票の閲覧や、スケジュール管理が出来る点はありがたく思います。

大学内のキャリアサポートセンターで、就職についての悩みを相談できたり、学生が在学中に、自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行う、「インターンシップ研修」があるということで、より現実的に自分の将来について、考える機会があることもわかりました。

息子も、来年は4年生ということで、計画的に真剣に、自分の将来について考え、努力をして欲しいと思います。親としては子どものために、出来る限りのサポートをしていきますが、大学で

も情報提供をよろしく願います。

大変有意義な保護者会でした。立正大学の、益々の発展をお祈り申し上げます。

横浜会場



- 日にち：平成28年10月1日（土）
- 会場：コンベンションルームAP 横浜駅西口
- 参加数：50人
阿部富美子（神奈川県）

10月1日に横浜会場で行われた保護者懇談会に参加させて頂きました。今年で最後の懇談会です。

実は、参加するか迷っていました。息子は卒業条件単位を取得し、就活も内定を頂き終了、あとは卒論の提出だけです。個人面接では担当ゼミの先生から直接、お話を伺うことができ、とても満足していました。今回は、単位の確認と、お世話になったお礼の挨拶も兼ね足を運ばせて頂きました。

今年の横浜会場は、ご夫婦での参加が多かったように思います。全体会に入り、ご挨拶などの後、キャリアサポートの草川課長から「父母のための就職講座」を拝聴しました。話に入る前に、保護者同士で子どもの自己紹介をして下さいと言われました。初めてでしたが、これで会場の雰囲気が和んだように思います。就職について、企業の採用意欲の高まりで大学生の就職率は上昇しています。就職環境は徐々に改善されてきているが、厳選採用の傾向は変わらないとのことでした。短期決戦になり企業の研究不足から長期的に就職活動を継続している4年生もいるそうです。現在のストレスの多い就職活動では、保護者ならではのサポートが求められるという点では、適切なアドバイスができたのか反省もあります。

個人面接では単位の確認をしました。大学生にもなると学校の話などしくなります。

これまでの懇談会での有益な情報は、とても助かりました。早い時期に就職活動にも関心をもてたと思います。そして、きめ細かなサポートをして頂いたこと心より感謝申し上げます。4年間お世話になりありがとうございました。

山形会場



- 日にち：平成28年10月9日（日）
- 会場：山形国際ホテル
- 参加数：26人
栞田惣男（福島県）

昨年に続き、2年生になった子どもの大学での様子を知るため、保護者懇談会に参加させて頂きました。「全体会」・「父母のための就職講座」・「個人面接」・「山形の同窓会との合同講演会」等、充実した内容でした。

全体会での「大学の近況」のお話では、最学が求められる質の保証に取り組もうとしていることを知り、大学への信頼を強めました。また、「父母のための就職講座」で、大学がキャリアサポートセンターやカリキュラムなどにより、きめ細かに学生の就職

支援をしていることが分かりました。自分の時代とは異なる就職活動の状況を理解し、今後は子どもとじっくり話し合い、アドバイスをしたいと考えました。個人面接においても、親切に対応していただき、子どもの大学での学習やサークル等の状況を知ることができました。合同講演会も講師の山下富美代先生の「注意とエラー」のお話を興味深く拝聴しました。

長期の休みぐらいいしか帰ってこない子どもの様子は、離れていると中々分からないものです。最初に懇談会の案内をいただいた時、参加するか悩みましたが、子どもの話ではなく、客観的な情報を得たいと参加しました。今回も参加して感じたことは、大学が1人1人の学生に対応した教育に取り組んでいるとともに、よく支援しているということです。様々な大学の取組や子どもの様子を知り、親として安心したところです。是非、来年はもっと多くの保護者の皆様に参加していただき、保護者同士の交流も深めればと感じました。

最後に、保護者懇談会にご尽力いただきました橘会の佐々木会長様、大学関係者の皆様心より感謝申し上げます。

熊谷会場



- 日にち：平成28年11月13日（日）
- 会場：立正大学熊谷キャンパス
- 参加数：130人
黒澤優佳（茨城県）

今年度最後となる保護者懇談会が熊谷キャンパスで開催され、参加させて頂きました。今回で2回目の参加となりましたが、会場で受け付けを済ませ、最初の全体会から最後の個人面接が終了するまで、学生方の親切な案内があり好感が持てました。

まず、全体会では橘会長様と学長の齋藤昇様よりご挨拶をいただき、橘会では保護者の立場から学生を支援していく事、齋藤昇学長からは文武両道の面からもっと立正大学の知名度を上げていきたい旨のお話をいただきました。

そして、多くの保護者の皆様が当日の目的としていた「父母のための就職講座」が、吉岡キャリアサポート課長の司会で、内定を受けた法学部の学生さんと、採用側である企業の人事部の方が、吉岡課長の具体的な質問に答えていただく形で行われました。参考になったのは、学生の方からの就職活動を始めた時期についてのお話です。エントリーシートを書く際は、文字の上手い下手はあるが、丁寧に書くこと、自己PRは表現の仕方を工夫したこと等でした。また、面接試験で意外だった質問はどの話題では、「困難にぶつかった時どのように対処しましたか。」や、「自分の長所、短所について」などを質問された事、そして、人事部の方からは、求める人材像として、自ら行動できる明るく元気な素直な印象を受ける学生との事でした。また、「履歴書は自分の分身だ。」という言葉も心に残りました。多くの保護者の方が熱心にメモをとられていました。

分科会では、学部ごとに分かれて学部紹介と個人面接にのぞきました。担当教授からの個人資料をもとに、息子の様子を伺うことができ安心しました。

こうして保護者懇談会は、大きな拍手のもと、閉会しました。



『少年詩・少女詩の系譜と私
附 国語教育・教育問題史年表』
根本 正義 (ねもと まさよし)
(昭和 39 年 文学部国文学科卒業)

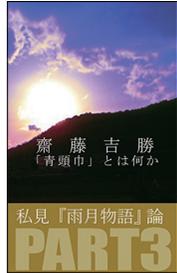
銀の鈴社 <http://www.ginsuzu.com>
定価 2,200 円 (税抜) 四六判型/上製
研究書・以文会友叢書シリーズ

◆ 根本 正義さんプロフィール

1942 年 東京都生まれ
1964 年 立正大学卒業後、大東文化大学第一高等学校
教諭、東京学芸大学教授等を経て、現在は東
京学芸大学名誉教授、日本文芸家協会会員。

◆ 内容紹介 (もくじ)

少年詩・少女詩の誕生/児玉花外の少年詩の世界
明治の唱歌『博物教育 動物唱歌』のこと
有本芳水から西條八十へ/サトウハチローの童謡と少年詩
/童謡界の巨匠 白秋と雨情
時局を反映した詩集/戦後の少年詩・少女詩/少年詩・少
女詩略年表/附 抒情歌一覧
根本正義二十歳のころ～インタビュー・2006 年 12 月
13 日～ 武田裕
立正大学は私にとっての原点/浅野晃先生のこと～浅野先
生を偲ぶ集いの出席者のために～/根本正義 年譜と著作
目録/Ⅰ 年譜(2013 年現在)/Ⅱ 著作目録(2015 年現在)
附 国語教育・教育問題史年表 (2016 年 8 月現在)



『青頭巾』とは何か

中澤 吉勝 (なかざわ よしかつ)

本名: 齋藤 吉勝 (さいとう よしまさ)
(昭和 62 年 文学部国文学科卒業)

Amazon Kindle 版 アマゾン電子書籍
定価 500 円 (税込)

【お問合せ】

yoshimasa1264@gmail.com

◆ 齋藤 吉勝さんプロフィール

1964 年 宮城県生まれ
1987 年 立正大学文学部国文学科卒業
卒業後、仙台の業界新聞記者、宮城県公
立中学校国語科教諭を経験。
現在は、詩・エッセイ・小説等を執筆中。

◆ 内容紹介

「近世日本文学の傑作、上田秋成の『雨月物語』の中
でも特に難解とされる短篇「青頭巾」を、[陰陽五行思想]
の観点から読み解く研究書、第 3 弾。
「青」とは何か、「頭巾」とは何かの二つに焦点を絞り、
誰にでも分かりやすく解説。



『ゴムの木とクジラ』

白鳥 博康 (しらとりひろやす)

(平成 23 年 文学研究科国文学専攻
博士後期課程修了)
絵/もとやま まさこ

銀の鈴社

定価 3,000 円 (税抜)

【お問合せ】 info@ginsuzu.com

◆ 白鳥 博康さんプロフィール

1983 年 東京都生まれ
大学院修了後、フランス遊学を経て、創
作活動にはいる。

◆ 内容紹介

ちいさな イチジクの実は 惑星にそって 半円をえがくと
氷河のなかに すいこまれていった ([Liebesträume] より)
白いクジラがうねるとき、シュールリアルにひびきあう 8
つの世界。ふわふわ甘くて、ほんのり苦い。センシティブ
な言葉と、やわらかい絵がとけあう、あたらしい詩のかた
ち。『夏の日』(銀の鈴社)につづく、新感覚の絵本第 2 段。

【収録作品】

「すいせいを のむ」「être の理由」「子午線の寝台」「ア
ラバスク」「ゴムの木とクジラ」「おとと デイマンシュ
と…」 「郵便飛行機」 [Liebestäume]
オールカラー /120 ページ

卒業生の活躍情報



左: 大井満明支部長 贈呈式の様子
右: ハプチョン郡郡守ハ・チャンワン氏

この度香川県支部長大井
満明氏が三豊市姉妹都市、
「韓国ハプチョン郡」より永
年の功績が認められ感謝状
授与のため平成 28 年 9 月
28 日ハプチョン郡文化祭り
事に招待されました。ハプ
チョン郡主催ハプチョン桜マ
ラソン大会(約 1 万人超規模)
に自費で三豊市より 11 回
連続団長としてマラソン大会
に連続参加。記念植樹など
にその功績が認められたも
のでした。韓国語で次の言
葉を残し帰ってきたそうで
す。

ハプチョンエソ ガムシャジャウル パッコ ガンギョク
ヘスンニダ。アプロド ハプチョンサクラマラソンヘソ
ウジョンヘ ドーミゴシポヨ。



INFORMATION

2016年度校友会費B (卒業生・現元教職員等会費)のご案内

昨年度は校友会費B(3,000円)に約2,393件・7,147,000円のご協力を賜りました。皆様のご協力に深く御礼申し上げます。

ご協力頂きました会費は校友会奨学金、入学記念品、卒業記念品、課外活動助成金等の在校生支援事業および卒業生交流会費用や会報等発送に関する校友会運営費に充当させていただきます。

まだお振込がお済みでない会員の方は、専用振込用紙にてゆうちょ銀行よりお振込くださいますようお願い申し上げます。

なお、2016年度より毎号、振込用紙を同封しております。校友会費Bは年会費ですので、4月号より翌年3月31日迄に1度、お振込いただきますと、その年の会費としてお預かりしております。振込用紙は毎回のように届きますが、皆様、一律にお送りしておりますので、ご了承ください。

記入の際、下記青枠内において、本紙への氏名掲載を「許可する」。もしくは、「許可しない」のご希望をお伺いしております。どちらか片方に○をお付けの上、お申込みくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。



卒業記念品



入学記念品

02 東京	払込取扱票	通常払込科金加入者負担	振替払込請求書受領証
0010100004	417250	金額	金額
立正大学校友会		3000	0010000
校友会費B	会費番号:		417250
	学校学科または研究科名:		立正大学校友会
	卒業年度(修了年度):		3000
	年		
	日		
	月		
	印		

立正大学生涯メールのご案内

立正大学では、卒業生・修了生が、同窓生同士の交流はもちろんのこと、本学との交流や情報交換を図り、無償、永年利用のメールサービスをおこなっております。詳細につきましては校友会ホームページをご参照下さい。

校友会会員情報について

ご登録を頂いております、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等にご変更および訂正がございましたら、下記までご連絡下さい。

変更届の内容

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
- ◆メールアドレス ◆勤務先または職業
- ◆校友会会員番号 (校友会報・学園新聞宛名ラベルの番号)

お問い合わせ・お届け先

立正大学学長室校友課
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
☎ 03 (3493) 6673 FAX: 03 (3493) 9068
Email: alu@ris.ac.jp

専用用紙は立正大学校友会ホームページ (<http://alumni.rissho.jp/>) からダウンロードできます。

お知らせください

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の活動に関する情報がございましたら上記お問い合わせまでご連絡ください。



発行者	立正大学校友会 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
発行人	齊藤 昇
編集	立正大学学長室校友課
電話	03-3493-6673
URL	http://alumni.rissho.jp/